

〔倭訓栞前編十三〕志 亥がらき 近江甲賀郡の郷名也今もはら陶器茶茗に名あり

〔續日本紀十四〕聖武 天平十四年八月癸未詔曰朕將行幸近江國甲賀郡紫香樂村即以造宮卿正四位下

智努王輔外從五位下高岡連河内等四人爲造離宮司

〔類聚三代格一〕太政官符

應貢猿女事

右略○中 猿女養田在近江國和邇村山城國小野郷今小野臣和邇部臣等既非其氏被供猿女熟搜事

緒上件兩氏貪人利田不顧恥辱拙吏相容無加督察也略○中 右大臣宣奉勅宜改正之者仍兩氏猿女

從停廢定猿女公氏之女一人進縫殿寮隨闕即補以爲恒例

弘仁四年十月二十七日

〔叡岳要記上〕圓融院御時 左辨官下 近江國

應延曆寺代々御願堂塔造作修理間免除東坂本并三津濱苗鹿村住人臨時雜役事

天元二年八月二十八日下宣旨

國符 滋賀郡

可免除天台山東坂本三津苗鹿住人臨時雜役事

天元六年九月二十五日國符

〔書言字考節用集一〕乾坤 矢橋本字八早瀬 矢橋江州栗太郡

〔近江國輿地志略〕四十二 矢橋村 新濱村の北にある村なり参考保元物語には矢早瀬の字に作

る今昔物語には矢馳に作る蓋野洲郡とするものは誤歟然れども國史にさへ郡を違へる所多

し時の沿革もあれば誤とも謂がたし

〔今昔物語 二十八〕近江國矢馳郡司堂供養田樂語第七